

## 2021年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月29日

上場会社名 アクモス株式会社  
 コード番号 6888 URL <https://www.acmos.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 飯島 秀幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画管理部部長 (氏名) 末國 真一

TEL 03-5217-3121

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年6月期第2四半期の連結業績(2020年7月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第2四半期	2,037	4.0	127	38.5	128	38.1	101	25.5
2020年6月期第2四半期	2,121	0.4	207	45.5	207	46.3	136	19.6

(注) 包括利益 2021年6月期第2四半期 104百万円 (25.6%) 2020年6月期第2四半期 140百万円 (43.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第2四半期	10.45	
2020年6月期第2四半期	14.03	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第2四半期	3,120	2,158	67.4
2020年6月期	3,470	2,132	59.7

(参考) 自己資本 2021年6月期第2四半期 2,103百万円 2020年6月期 2,073百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期		0.00		11.00	11.00
2021年6月期		0.00			
2021年6月期(予想)				9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日～2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,910	0.6	420	18.8	425	19.4	270	19.4	27.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年6月期2Q	10,215,400 株	2020年6月期	10,215,400 株
期末自己株式数	2021年6月期2Q	461,342 株	2020年6月期	515,942 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年6月期2Q	9,708,656 株	2020年6月期2Q	9,699,500 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(自2020年7月1日至2020年12月31日、以下「当四半期」という。)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大が続くなか、国内ではさまざまな対策により段階的に経済活動が再開し、2020年7月～9月の実質GDP成長率がプラスに転じ、一部で回復の傾向がみられました。しかしながら2020年12月頃から国内で感染者が再び増加しており、見通しは不透明な状況が続いております。

当社グループの事業を取り巻く環境では、民間企業のIT投資に対する姿勢も一部に慎重な状況がみられますが、一方でデジタルトランスフォーメーション(DX)による既存システムの刷新や、新たなビジネスモデルの構築、生産性向上による競争力の強化などを目的としたICT技術の活用が注目されてきております。また、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機としたテレワークや遠隔操作、自動化などのためのICTの活用やIoTの普及に伴い、ネットワーク保守やデータ流通における安全性の確保、サイバーセキュリティの強化の重要性が増しているほか、地震や大雨等による近年の自然災害の増加を受けて、防災関連のシステムが注目されてきております。

当社グループは、2025年6月期までに取り組むべき事業の方向性を示す「長期ビジョン2025」を2016年に制定いたしました。その最初の3年間の計画として進めてきた「中期経営計画I(2016/07-2019/06)」に続く次の3年間の計画「中期経営計画II(2019/07-2022/06)」では、テーマ「発展」を掲げ、専門分野を深耕し、新サービスでお客様を獲得する個性豊かなグッドカンパニーを目指してまいります。

新型コロナウイルス感染症拡大防止への対策については、社員へのマスク着用やうがい・手洗いの徹底、消毒液の配備、公共交通機関利用者の時差通勤の推奨やテレワークを活用し、事務所内の密な状態を避け、会議や研修、新入社員のOJTについても一部リモートでの対応を行うなどの取り組みを継続しております。

前第2四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2019年12月31日、以下「前四半期」という。)に売上計上された防災行政無線戸別受信機管理システムSYMPROBUS-ReceiveManの納品や、システム更新案件のピーク時期にあったことなどによる一時的な売上増加要因がなくなっているものの、当社グループの当四半期における新型コロナウイルス感染症による影響は当期の計画立案時点の想定より若干軽微な傾向がみられ、概ね予定どおりの進捗となりました。

当四半期の売上高は前四半期から83百万円減少し、2,037百万円(前四半期は2,121百万円、前四半期比4.0%減)となりました。営業利益は127百万円(前四半期は207百万円、前四半期比38.5%減)、経常利益128百万円(前四半期は207百万円、前四半期比38.1%減)となりました。前連結会計年度にかかる税額控除額等20百万円により税金費用が減少したことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は101百万円(前四半期は136百万円、前四半期比25.5%減)となりました。

各セグメント別の状況は以下のとおりです。

#### (ITソリューション事業)

1) SI・ソフトウェア開発分野では、システムインテグレーター(SIer)からの公共系を中心とした開発で前四半期を上回る稼働率となっております。地図情報関連事業では地方や特に民間への新規営業活動が難しいなか、既存取引先、地方自治体の業務や、森林ICTプラットフォーム関連、消防GISや防災関連システム構築などを中心に業務を進めました。システムエンジニアリングサービス(SES)では、メーカーから受託しているシステム更新プロジェクトの開発案件が2020年8月に完了して安定的に運用が進み、保守フェーズに移行いたしました。協力会社のエンジニアを削減してピーク時の開発体制からは縮小した人員体制となっている一方、製品・サービスの販売が伸びたことから、当四半期のSI・ソフトウェア開発分野は概ね予定どおりの進捗となり、売上高は1,299百万円(前四半期比1.5%減)となりました。

2) IT基盤・ネットワーク構築分野では、既存のお客様のネットワーク運用保守をはじめ、首都圏のネットワーク・セキュリティ関連案件の開拓と稼働率の向上、医療系システム関連での運用業務と販路拡大に努め、受注活動は堅調に推移しました。官公庁のグループウェア更新案件等の入札案件や病院のサーバー仮想化等の構築案件に取り組み、2020年11月には当社がNutani社(本社：米国カリフォルニア州サンノゼ)のリセラーパートナーに認定され、官公庁の案件でNutani社の製品を活用しております。また、連結子会社のACMOSソーシングサービス株式会社が、同月にジェイズ・コミュニケーション株式会社と販売代理店契約を締結し、医療機関向けに同社製品「RevoWorksシリーズ」(注)の取り扱いを開始いたしました。当四半期のIT基盤・ネットワーク構築分野の売上高は576百万円(前四半期比4.0%増)となりました。

自社開発の標的型攻撃メール対応訓練ソリューション製品SYMPROBUS Targeted Mail Training(以下「TMT」とい

う。)とSYMPROBUS CoTra Enterprise (以下「CoTra」という。)については継続的にお客様の要望などを取り入れながら改良を行い営業を進めており、当四半期末現在、TMT、CoTraは追加契約、契約更新して頂いたお客様を含め、延べ12万を超えるアカウントの累計数となっております。

以上の結果、当四半期のITソリューション事業全体の売上高は1,875百万円(前四半期は1,873百万円、前四半期比0.1%増)、営業利益は135百万円(前四半期は194百万円、前四半期比30.6%減)となりました。

(注)「RevoWorksシリーズ」は、インターネット分離により企業の重要データをサイバー攻撃から守る、情報保護(情報漏洩対策)プラットフォームです。

(ITサービス事業)

ITサービス事業では、当四半期は第1四半期に比べ新型コロナウイルス感染症の影響の縮小傾向がみられますが、集合形式のイベントの中止や延期によりアンケートや試験事務局の業務への影響は継続しております。また、ストレスチェック業務では、実施の延期、顧客側の業績悪化による予算縮小などの影響があり、ストレスチェック関連の売上高は前四半期比で18.5%減となりました。全体的に業務量が減少したことから休業による雇用調整助成金を活用して人件費を圧縮し、外注コストの見直しや内製化による原価コストの削減を進めるとともに、既存顧客への深掘り営業とEAP(注)事業会社に対するシェア拡大のためのストレスチェック業務の営業活動を進めました。売上高は172百万円(前四半期は258百万円、前四半期比33.5%減)となり、営業利益15百万円(前四半期は営業利益34百万円、前四半期比56.0%減)となりました。

(注)EAP:Employee Assistance Program(従業員支援プログラム)

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当四半期末における総資産は、前連結会計年度末から349百万円減少し、3,120百万円となりました。これは主に仕掛品の増加156百万円の方で、現金及び預金の減少473百万円があったことによるものです。

(負債)

当四半期末における負債は、前連結会計年度末から375百万円減少し、962百万円となりました。これは主に未払費用の減少287百万円があったことによるものです。

(純資産)

当四半期末における純資産は、前連結会計年度末から25百万円増加し、2,158百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益101百万円、配当金の支払106百万円があったことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当四半期末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末から468百万円減少し、1,772百万円となりました。各キャッシュ・フローの区分の状況とその要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、402百万円の支出(前四半期は445百万円の支出)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益128百万円を計上した一方で、たな卸資産の増加額152百万円、未払費用の減少等のその他366百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、6百万円の支出(前四半期は60百万円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出4百万円、無形固定資産の取得による支出6百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、59百万円の支出(前四半期は9百万円の支出)となりました。これは主に長期借入の純減額24百万円、短期借入金の純増額75百万円、配当金の支払額106百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月4日付の「2020年6月期決算短信」にて公表いたしました2021年6月期の業績予想に変更はありません。

当社グループでは新型コロナウイルス感染症による影響を受けているものの、将来における受注及びプロジェクト進捗への影響、お客様からのご要望、新型コロナウイルス感染症への関係者の罹患といったリスクに対して影響を正確に把握することは困難であります。労働環境や営業活動の状況は、概ね2020年7月時点での状況が継続するものと想定し、予想時点で入手可能な情報により合理的と考えられる内容により2021年6月期の連結業績を予想しております。当四半期においては概ね計画どおりに推移しており業績予想の変更はありません。なお、予想にあたって前提とした内容に大きな変化が生じた場合には改めて業績予想を見直し、開示すべき事象が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,289,019	1,815,673
受取手形及び売掛金	624,881	616,423
商品	20,902	16,815
仕掛品	65,767	222,146
その他	34,540	43,836
流動資産合計	3,035,111	2,714,894
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	241,484	242,334
減価償却累計額	△145,392	△148,948
建物及び構築物（純額）	96,092	93,386
工具、器具及び備品	160,346	164,760
減価償却累計額	△129,887	△136,197
工具、器具及び備品（純額）	30,459	28,562
土地	68,836	68,836
有形固定資産合計	195,387	190,785
無形固定資産		
のれん	11,666	9,666
ソフトウェア	52,602	46,747
その他	1,335	1,335
無形固定資産合計	65,604	57,749
投資その他の資産		
投資有価証券	35,150	43,052
繰延税金資産	72,430	47,820
その他	66,854	66,511
投資その他の資産合計	174,435	157,383
固定資産合計	435,428	405,918
資産合計	3,470,539	3,120,812

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	167,044	167,692
短期借入金	160,000	235,000
1年内返済予定の長期借入金	49,920	33,520
未払金	258,498	147,887
未払費用	429,235	141,892
未払法人税等	132,339	45,188
賞与引当金	30,619	82,051
受注損失引当金	1,963	—
その他	99,827	109,473
流動負債合計	1,329,448	962,706
固定負債		
長期借入金	8,560	—
その他	64	—
固定負債合計	8,624	—
負債合計	1,338,073	962,706
純資産の部		
株主資本		
資本金	693,250	693,250
資本剰余金	1,176,282	1,201,533
利益剰余金	250,727	245,484
自己株式	△53,933	△48,226
株主資本合計	2,066,326	2,092,041
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,131	11,667
その他の包括利益累計額合計	7,131	11,667
非支配株主持分	59,008	54,397
純資産合計	2,132,466	2,158,105
負債純資産合計	3,470,539	3,120,812

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年7月1日 至2020年12月31日)
売上高	2,121,217	2,037,262
売上原価	1,370,867	1,358,472
売上総利益	750,349	678,789
販売費及び一般管理費	543,054	551,230
営業利益	207,294	127,558
営業外収益		
受取利息及び配当金	463	1,029
その他	1,078	964
営業外収益合計	1,542	1,994
営業外費用		
支払利息	1,004	918
その他	44	0
営業外費用合計	1,049	918
経常利益	207,788	128,633
特別損失		
事務所移転費用	6,405	—
その他	205	—
特別損失合計	6,610	—
税金等調整前四半期純利益	201,178	128,633
法人税、住民税及び事業税	48,913	26,324
過年度法人税等	—	△20,126
法人税等調整額	16,620	22,608
法人税等合計	65,533	28,807
四半期純利益	135,644	99,826
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△452	△1,624
親会社株主に帰属する四半期純利益	136,097	101,450

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	135,644	99,826
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,654	4,535
その他の包括利益合計	4,654	4,535
四半期包括利益	140,299	104,362
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	140,752	105,986
非支配株主に係る四半期包括利益	△452	△1,624

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	201,178	128,633
減価償却費	19,834	22,685
のれん償却額	1,999	1,999
株式報酬費用	—	9,886
賞与引当金の増減額 (△は減少)	46,470	51,431
修繕引当金の増減額 (△は減少)	△16,510	—
受取利息及び受取配当金	△463	△1,029
支払利息	1,004	918
事務所移転費用	6,405	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△52,160	△11,106
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△295,581	△152,169
仕入債務の増減額 (△は減少)	44,961	647
その他	△288,618	△366,727
小計	△331,480	△314,828
利息及び配当金の受取額	96	184
利息の支払額	△1,140	△816
法人税等の支払額	△112,871	△117,345
法人税等の還付額	—	30,131
営業活動によるキャッシュ・フロー	△445,396	△402,673
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	4,800	4,800
有形固定資産の取得による支出	△21,589	△4,853
無形固定資産の取得による支出	△18,873	△6,519
敷金及び保証金の差入による支出	△26,066	△50
その他	752	392
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,976	△6,231
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	70,000	75,000
長期借入金の返済による支出	△30,535	△24,960
配当金の支払額	△47,907	△106,694
その他	△1,406	△2,986
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,848	△59,640
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△516,221	△468,545
現金及び現金同等物の期首残高	1,974,908	2,240,602
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,458,687	1,772,057

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)	合計
	ITソリューション事業	ITサービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,862,894	258,323	2,121,217	—	2,121,217
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,571	291	10,862	△10,862	—
計	1,873,465	258,614	2,132,080	△10,862	2,121,217
セグメント利益	194,842	34,930	229,772	△22,477	207,294

(注) 1 セグメント利益の調整額△22,477千円には、報告セグメントに配分していない全社費用△20,003千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の上場維持に係る費用等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)	合計
	ITソリューション事業	ITサービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,865,413	171,848	2,037,262	—	2,037,262
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,493	173	10,667	△10,667	—
計	1,875,907	172,022	2,047,929	△10,667	2,037,262
セグメント利益	135,234	15,371	150,606	△23,048	127,558

(注) 1 セグメント利益の調整額△23,048千円には、報告セグメントに配分していない全社費用△22,929千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の上場維持に係る費用等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。